

## 令和2年度第2回新居浜市廃棄物減量等推進審議会議事録

- 1 開催日時 令和3年3月26日（金）14:00～14:15
- 2 開催場所 新居浜市消防防災合同庁舎 5階 災害対策室
- 3 出席者 (委員) 大久保浩、岸泰典、菅幸廣、坂上公三、佐伯美鈴、秋山順子、尾崎恵、高橋成一、永易弘三、白石真奈美、飯尾和之、小野辰夫 (13名)  
(市) 原市民環境部長、加藤市民環境部次長兼ごみ減量課長、青野ごみ減量課副課長、日野ごみ減量係長
- 4 欠席者 (委員) 三木ユリエ、(1名)
- 5 開会 市民環境部長あいさつ
- 6 委員自己紹介
- 7 会長及び副会長選出  
会長に尾崎恵委員、副会長に飯尾和之委員が選出された。  
会長及び副会長あいさつ
- 8 議事「新居浜市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について」

(会長)

それでは、本日の議題に移ります。

本審議会は、新居浜市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について、前回の審議会において市長から諮問され、パブリックコメントにかける計画案を審議し、パブリックコメント等での意見を反映させて最終案を取りまとめることとしておりました。

では、事務局より最終案について説明をお願いします。

(事務局)

答申案について説明いたします。

配布しております資料は、パブリックコメントを経て最終案として完成しましたものでございまして、確認いただきたいと思っております。

計画案の説明をいたします。

まず、パブリックコメントにかけました計画については、前回の審議会での意見を反映させて2ヶ所の修正をしたものとなります。

1点目が、小中学校での環境学習が重要。各小中学校で取り組んでいるESD教育と連携してはどうかという提言がありましたので、計画案32ページ(5)環境学習の取り組みの②としまして、「小中学校での持続可能な開発のための教育(ESD)と連携し、環境学習を推進するとともに、ごみ処理の現場を知る機会を設けることで、子どもたちのごみに対する関心を高めま

す。」という取り組みを書き加えました。

次に2点目が新型コロナ対策や新しい生活様式の対応についての記載があったらとの提言がありましたので同32ページ(6)災害廃棄物対策の取り組みのところの②としまして「自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等、ごみ処理に支障をきたす緊急事態の発生に備え、収集運搬や中間処理に係る業務継続計画(BCP)を策定し、緊急事態においても安定したごみ処理が継続できる体制を構築します。」という取り組みを書き加えました。

パブリックコメントにつきましては、1名の方よりお配りしている資料のとおり参考となる個々具体的な事業についての意見の提出がありましたが、その内容については現計画案に盛り込まれているものでもありましたので現計画案を最終案とさせていただきます。以上で説明を終わります。

(会長)

事務局より説明がありましたが、説明のありました最終案について具体的な修正箇所などございましたらご意見をお願いします。御意見がなければこの最終案をもって答申といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。ご意見ありませんか。

ご意見がないようですので、説明のあった最終案をもって答申といたします。

では、今後のスケジュールなどについて事務局よりお願いします。

(事務局)

本日は、ご審議ありがとうございました。

今後のスケジュールですが、答申の日程といたしましては、来週3月30日火曜日午後3時からを予定しております。なお、市長への答申につきましては、審議会の代表として会長に出席をお願いし、答申する予定としておりますのでお願いいたします。以上です。

(会長)

本日は、これで終了といたします。お忙しい中ご参集いただきまして誠にありがとうございました。